

公益社団法人 酒々井町シルバー人材センター
平成24年度事業報告

1、総括

景気低迷が続いている中、昨年後半に政権交代があり新政権に対する国民の期待は大きいものがあり経済回復に向けた明るい兆しが見えています。これが特定の企業や富裕層だけ潤うのではなく国民全体に実体経済が伴う恩恵があることを期待しています。

さて、当センターは平成24年4月1日公益社団法人として新たにスタートしました。

公益法人化に際しては県シルバー連合会・酒々井町等関係各位の多大なるご指導・ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

事業拡大が厳しくなっていく状況下ですが平成24年度の受託事業実績（派遣事業を含む）は、昨年度比110%を超えることができました。これは、当センターに対する町民や企業の皆様のご理解が深まっていると共に会員各位の努力の賜物であると考えます。

平成24年4月から派遣事業を開始、平成24年10月から無料職業紹介事業を開始する等、新たな事業への取り組みを行いました。

また、「お客様満足度調査」を実施し、多くの貴重なご意見・ご要望等を頂きました。今後の活動に大いに活かしていきたいと考えます。

2、会員の入会促進

平成24年度会員数は高めの140名を目標にスタートし、ビラ配り・町広報紙の活用等PRを積極的に進めてきましたが結果は120名で昨年度末と同数となりました。これは新規18名の増に対し18名の退会者があったもので、退会理由の多くは高齢化に伴う健康上の問題です。

昨年度女性会員が需要に応えられないことがあったことから、今年度は特に女性会員の募集に力を注ぎましたが増員には繋がりませんでした。

当センターの会員平均年齢は69.1歳（男性69.3歳、女性68.3歳）で、今後企業の退職年齢が65歳に引き上げ義務化（4/1法制化）されることにより、会員の高齢化は顕著なものとなると考えられます。

就業率は昨年度の64.8%⇒62.3%（男性61.7%、女性66.9%）に下がっています。このことは、派遣事業参加による派遣業務が増えたことが要因ですが派遣事業分を加味すると同水準となります。なお、実就業人員は105名（退会者を含めると115名）で実人員就業率は87.5%と比較的高い数値と考えます。

また、今年度は継続的な就業が増加し、会員が受託に100%対応できないこともありましたが、次年度も引き続き会員の増強に努めたいと考えます。特に、今年度実施した「お客様満足度調査」では、町広報紙、知人・友人の紹介等でセンタ

一を知ったケースが74%を占めていることから、今後の会員募集に役立てたいと考えます。

個別の活動結果は以下のとおりです。

- 1) 会員募集
 - ①チラシ配布 3回(8月、11月、3月)、約2,000部配布
 - ②町広報紙でのPR 1回(10月)
 - ③町行事への参加 1回(2月) 盛年式においてPR

- 2) 入会説明会
 - ①毎月第2月曜日11時開催(原則)
 - ②資料作成

- 3) 班会議の推進
 - ①班の編成表作成配布

- 4) 全会員懇親会
 - ①総会後にパークゴルフ大会開催(参加者19名)

- 5) ふるさと祭りへの参加
 - ①チラシの配布
 - ②焼きそば、餃子、会員の手作り品等販売

3、就業機会の提供と拡大

平成24年度の受託事業収入は約4,200万円ですが派遣事業分約490万円を加えると前年より10%強の伸びとなりました。また、受託件数は前年度より101件増の1,000件となりました。

受託事業実績及び主な活動内容は次のとおりです。

1) 受託事業実績

	受託件数(件)	受託金額(千円)
民間	888	32,904
公共	112	9,114
合計	1,000	42,018

(参考値) 派遣事業実績 約4,880

2) 就業開拓

- ① 酒々井町在の大手量販店3社、エービン、しまむら、福太郎及びネクスコ東日本リテイル(酒々井PA)等を訪問し、当センターが公益社団法人となったことを踏まえ、何か我々にお手伝いさせていただきたいとお願いしました。
- ② 新任の酒々井町副町長に面談し、当シルバー人材センターの現状と今後の協力をお願いしました。
- ③ 例年通り3回のビラ配り及び一般家庭の樹木剪定時、周りの住宅等にチラシの配布を行いました。

3) 公平な就業機会の提供

新旧会員の交代等に伴い徐々に新しい会員にも定期的な業務に就けるように配慮しました。今後も公平な就業機会の提供ができるように努力します。

4) 企画提案方式による事業

10月、千葉県シルバー人材センター連合会主催で行われたセミナー「就業開拓会”事例研究会”」に参加し、他シルバーの事例を拝聴致しましたが各地域の特性が有り、直ちに当センターに応用できる事例には見当たりませんでした。今後も検討していきます。

5) 自主事業

例年実施している「酒々井町ふるさと祭り」へ参加しました。前年より売り物の種類を増やして盛大になりました。今後も新しい企画を考えたいと思います。

6) 無料職業紹介事業

10月に無料職業紹介所としての届け出を行い、取組を開始しました。

7) 一般労働者派遣事業

4月よりジョイフル本田富里店の「灯油販売業務」及び「金物販売業務」を派遣事業として開始しました。これからも請負作業が困難な仕事について派遣事業の取り組みを行います。

4、知識・技能の向上

新会員、未経験会員および一般高齢者の新たな技能の習得と向上を図るため、次の講習会を実施しました。

樹木剪定講習会

- ・ 3月4日 酒々井小学校 講師（会員）、受講者 計16名
- ・ 3月5日 同上 講師（会員）、受講者 計17名

講習会終了後、講師による受講者の技能測定を行いました。今後の作業配分の参考にします。

5、普及啓発

当センターは、公益社団法人として1年が経過しましたが今後共さらなる社会的地位の向上、会員数の安定確保及び事業の継続的安定を図っていく必要があります。

このことを踏まえ、平成24年度も、町広報紙「ニューしすい」への広告掲載を行うとともに、町内のスーパーやイベント会場においてチラシの配布を行いました。

また、シルバー人材センターの理念、活動状況等について広く会員及び町民に周知し、理解と参加が得られるよう広報紙「酒々井しるばー」を定期発行（2回）す

るとともに、町主催の「盛年式」への参加及びホームページを活用した普及啓発活動を行いました。

6、安全・適正就業の推進

1) 安全意識の高揚と啓発活動

① 安全・適正就業委員会の開催

平成24年度は11回（除く8月）開催し、安全就業に関する実体験や見聞、全国シルバーの報告書を基に、委員全体で活発な意見交換、討議を行い、必要に応じ「酒々井しるばー」に掲載して注意喚起を図りました。

② 安全パトロールの実施

安全・就業委員および役員の2名で各現場の安全パトロールを7回実施しました。結果は、安全・適正就業委員会に報告され、注意喚起の基としました。

③ 交通安全については千葉県の協力依頼を受け、適宜、ビラ配布、ホームページ掲載、事務所入口のポスター貼付、旗の掲揚等を行い、注意喚起を図りました。

④ 当年度の保険処理事故は4件発生しました。

- ・ 6月27日 草刈り作業で足を滑らせ負傷した。全治2ヶ月。
- ・ 7月19日 草刈り作業中、刈り払い機で小石を跳ね車の窓ガラスを破損
- ・ 8月17日 草刈り作業中、刈り払い機で小石を跳ね車の窓ガラスを破損
- ・ 1月11日 伐採作業中、伐採落下した枝で排水用塩ビ管を破損した

2) 適正就業

- ① 12月6日 県シ連派遣の指導員2名が来所、当シルバーの現状を報告し、合わせて種々意見交換を実施しました。

7、調査研究

近年、シルバー人材センターに対するお客様の認識やニーズ等が多様化する中、公益社団法人として新たにスタートした当センターとしては、お客様からのより高い満足をいただき、地域社会への一層の貢献をすることが求められています。

そこで平成24年度は「お客様満足度調査」を実施しました。その結果、大多数のお客様から概ね満足する旨の評価を頂きましたが、一方で数十項目ものさまざまなご意見・ご要望がありました。

この調査結果を踏まえ、今後共お客様のニーズを的確にとらえ時代の要請に対応した事業展開を図っていきます。

8、相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に定期的に入会説明会を実施し、相談に対応するほか、無料職業紹介事業として一般町民や会員に対する雇用・就業等の相談・情報提供を行う取り組みを開始しました。

以下の情報提供は、センター内閲覧とともにホームページ等で行っています。

- ①事業計画
- ②事業報告及び決算報告
- ③講習会等への参加募集
- ④調査研究結果

9、社会参加活動の推進

従来から実施している「酒々井町ふるさと祭り」への参加及び酒々井小学校樹木の剪定ボランティア（講習兼）を実施しました。

以上